

(別紙)

補助金交付に係る対応方針

事業名	静岡空港建設事業					
所在地	静岡県榛原郡榛原町	事業主体	静岡県			
事業概要	新空港(滑走路 2,500m)を整備する。					
事業期間	平成 6～18 年度	総事業費	550 億円			
既投資額	299 億円	事業進捗率	54%			
目的・必要性	静岡県を中心とする地域の航空需要に対応するため。					
評価の基となる 需要予測	航空利用者 国内線 106 万人(平成 18 年度) (国際線 32 万人(平成 18 年度))					
費用 対 効果 分 析	貨幣換算した主要な費用	建設費、改良・再投資費				
	貨幣換算した主要な便益	利用者便益(時間短縮効果、費用低減効果等)、供給者便益				
	費用の生じる時期	平成 6 年度				
	効果の生じる時期	平成 19 年度				
	社会的割引率	4%	現在価値化の基準年度	平成 15 年度		
	総費用 (関連事業含む)	1,216 億円	総便益 (国内線のみ)	1,571 億円		
	CBR	1.3	B - C	355 億円	EIRR	5.3%
	定量的・定性的に考慮した費用効果	高速交通体系の利便性の向上、観光振興、産業発展等地域に与える波及効果に加えて、羽田、成田空港の需給ひっ迫緩和、国内・国際航空ネットワークの充実、ビジットジャパンキャンペーンの推進、我が国全体の産業の発展等に貢献する。				
事業実施の目途	買収予定地の約 2%が未買収であるが、静岡県は、用地の確保に万全を期することとしている。					
代替案の有無 新たなコスト縮減の可能性	静岡県は、再評価に先立ち計画の一部を修正し、事業費を 10 億円縮減、さらに一層のコスト縮減を図ることとしている。					
事業実施によるメリット・デメリット	静岡県を中心とする地域の航空需要に対応することができる。					
対応方針	継続					
対応方針の決定理由	<p>静岡県は北海道等遠隔地との交流が不便な地域であり、高速交通体系の利便性を向上する必要性が認められる。需要予測は適切に実施されており、費用便益分析においては、費用を上回る効果が確認され、その他の効果も踏まえれば、相当の投資効果が見込まれる。</p> <p>また、需要予測結果及び他空港の類似路線の実績をみると、路線就航の可能性は十分あると認められる。</p> <p>さらに、静岡県は、用地の確保に万全を期するとともに、より一層のコスト縮減を図ることとしている。</p>					
経緯	<p>【静岡県における再評価】</p> <p>平成 15 年 5 月～7 月 静岡県事業評価監視委員会の審議(合計 7 回)</p> <p>平成 15 年 7 月 同委員会が、静岡県知事に継続することは適当との審議結果を報告</p> <p>平成 15 年 8 月 静岡県知事から国土交通大臣に継続との対応方針を送付</p> <p>【国における補助金交付に係る対応方針の検討】</p> <p>平成 15 年 10 月～平成 16 年 3 月 公共事業評価システム検討委員会航空部会における検討(合計 4 回)</p>					